

令和2年7月5日 ～ 8日の梅雨前線による降雨における 芹川ダム洪水調節の効果について

令和2年7月8日

【速報推計】

梅雨前線の影響により、5日17時から雨が降り始め7日22時までに累計254mmの降雨があり、22時41分には洪水量150m³/sに達したため洪水調節を開始しました。

その後も流入量は増加し、8日1時20分には最大流入量の519m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量は258.9m³/sであり、ダムに流れ込んだ水量の約50%にあたる、260.1m³/sをダムに貯めました。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、8日6時00分には洪水量の150m³/s以下となり洪水調節を終了しました。

総雨量は、368mm(5日17時～8日6時)で、最大時間雨量は、37mm/h(8日0時)でした。

今回の洪水調節により、下流河川(明礮橋地点)において、河川水位を約0.3m低減させたと推測しています。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

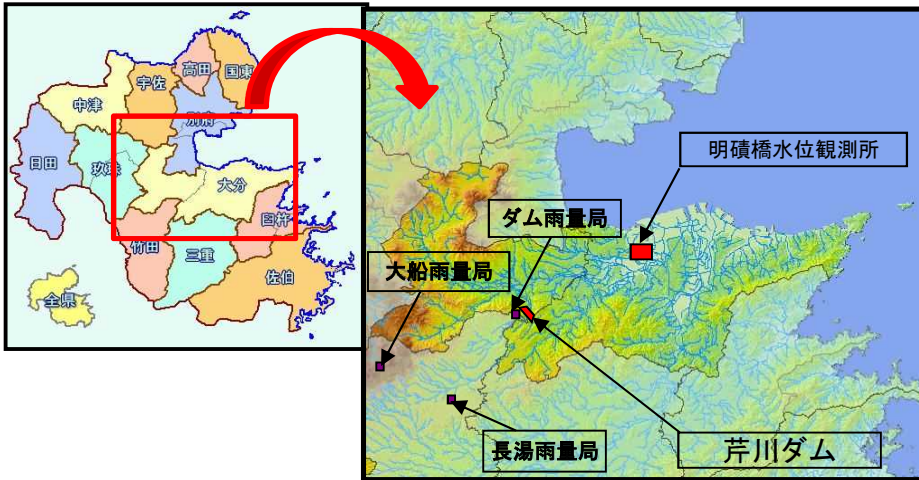
電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 芹川ダム管理支所

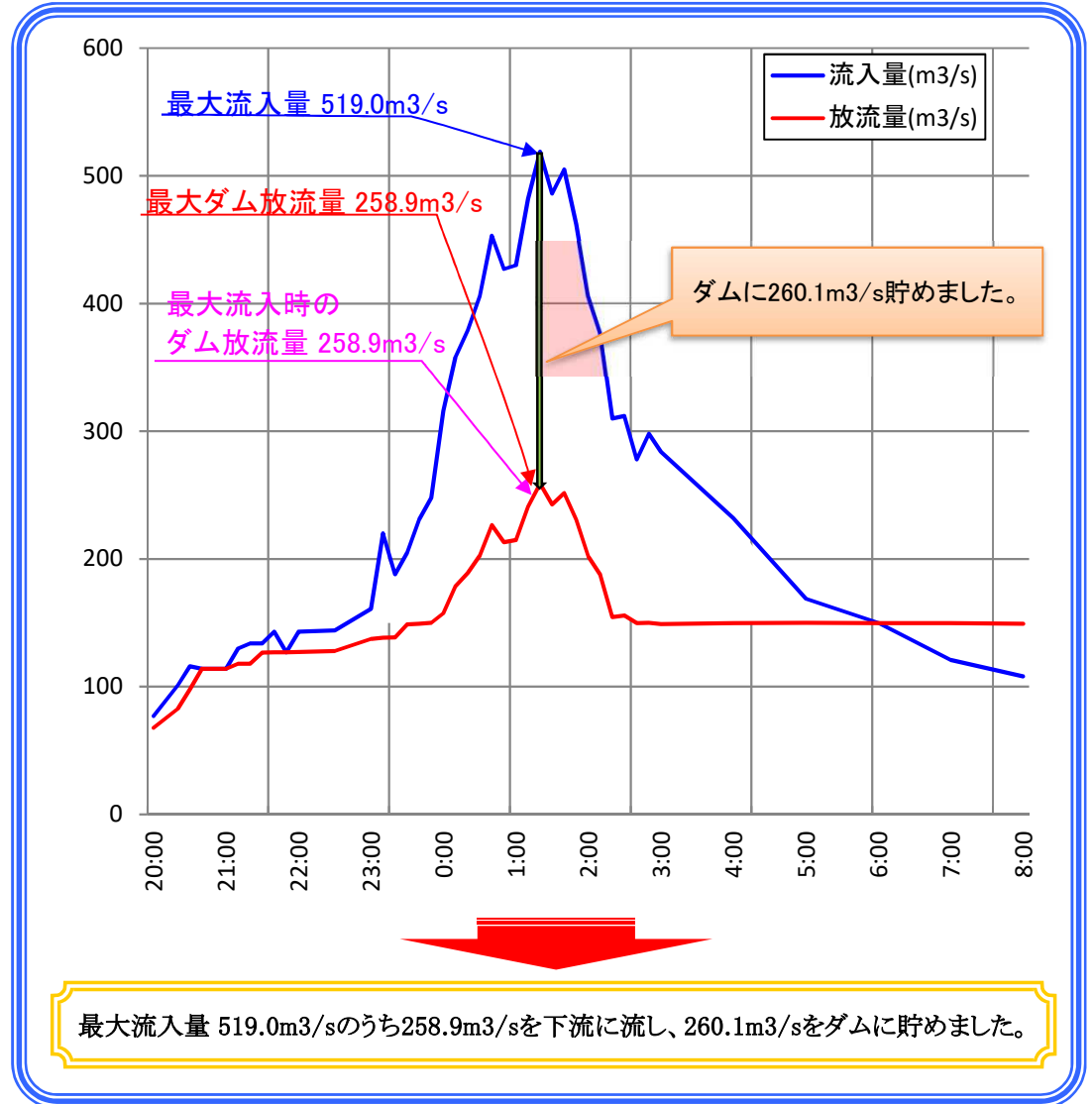
電話 (097)597-6890

令和2年7月5日 ~ 8日の梅雨前線による降雨における 芹川ダム洪水調節の効果について

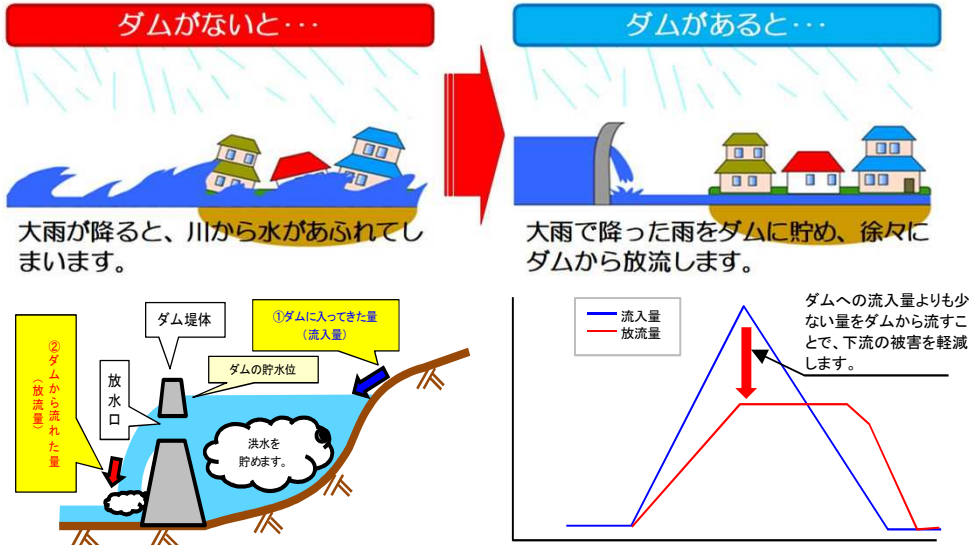
【芹川ダム位置図】



【防災操作実績図(速報値)】



【ダムの治水効果】



最大流入量 519.0m³/sのうち258.9m³/sを下流に流し、260.1m³/sをダムに貯めました。

令和2年7月5日 ~ 8日の梅雨前線による降雨における 芹川ダム洪水調節の効果について

【 大分市大字奥田 明礮橋地点の河川水位比較 】

